

ネイチャーセンターだより



6月のみどころ



【上旬】

ネイチャーセンター周辺では、ウソがタンポポの根本にある種を食べにくるため見やすくなります。また、自然学習林や春国岱の第二砂丘などキツツキが多く生息する場所では、キツツキの開けた穴などを使って繁殖するコムクドリが見られます。コムクドリはネイチャーセンター駐車場付近でも比較的簡単に見られます。草原では、シマセンニュウやノゴマなどの夏鳥がさえずる様子を見ることができるようになります。



さえずるウソ

【下旬】



センダイハギとエサを運ぶオオジュリン

春国岱の草原にセンダイハギの花が咲き、一面が黄色いお花畑になります。また、休憩舎付近などでハマナスが咲き始めます。ハマナスのピンクの大きな花びらからはとてもいい匂いがします。第一砂丘の木道のすぐ横では、ウミドリがピンク色の小さな花を咲かせます。

自然学習林では、宝石のようにきらめくゾウムシの仲間やオドリコソウの種を巣に運ぶアリの行列など、活発に活動する昆虫たちが見られるようになります。

おすすめスポット

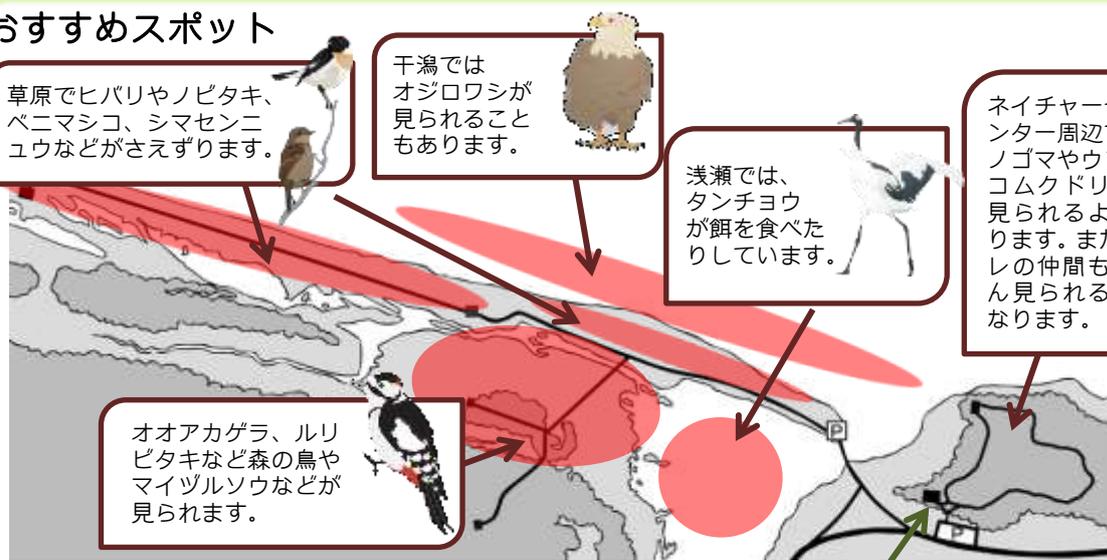
草原でヒバリやノビタキ、ベニマシコ、シマセンニュウなどがさえずります。

干潟ではオジロフシが見られることもあります。

浅瀬では、タンチョウが餌を食べたりしています。

ネイチャーセンター周辺で、ノゴマやウソ、コムクドリなどが見られるようになります。また、スミレの仲間もたくさん見られるようになります。

オオアカゲラ、ルリビタキなど森の鳥やマイヅルソウなどが見られます。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

アリを利用するオドリコソウの戦略

6月になると、自然学習林で、白地に薄いピンクの模様が入ったオドリコソウという花が咲きます。名前も見ただ目も可愛らしい感じの花ですが、見た目には知略に長けた一面を持っています。

ある日、ふと一輪のオドリコソウを見ると、そこに十数頭ものアリが群がっていることに気が付きました。花の蜜に寄せられているのかと思ったのですが、集まっている場所をよく見ると、不思議なことにそこは花の付け根（萼のあたり）だったのです。



オドリコソウの萼に群がるアリ

調べてみると、萼の中にはオドリコソウの種があり、種にはエライオソームというアリの食べ物となる化学物質が付着しているとのことでした。アリは、種ごとそれを自分の巣まで運び、エライオソームだけを食べます。残った種の部分はそのまま捨てられるため、オドリコソウは親株から離れた場所で発芽することができるそうです。

このようにオドリコソウはアリを巧みに利用し、自分の種をより遠くへと運んでもらうことで分布を広げています。こういった花は他にもあり、早春に咲くフクジュソウもその一つです。動物のように自由に動き回ることができない植物は、それを補う見事な戦略を持って、子孫を増やしています。

春国岱クイズ

初夏、自然学習林や春国岱にコムクドリという鳥が子育てのためにやってきます。さて、コムクドリはどんな巣を使うのでしょうか。

(A、Bの中から答えを選んでください。)

ヒント：ときどきアカゲラと巣の前で喧嘩します。



コムクドリ

A. 草で編んだお椀のような巣

B. キツツキが開けた穴など、木の穴（樹洞）

答えは次号に掲載します。（先月号の答え…A）

いきもの図鑑



英名 Brown-headed thrush 学名 *Turdus chrysolaus*

アカハラ（ヒタキ科）
 昨年までツグミ科に分類されていたスズメより少し大きな鳥です。夏鳥として根室に渡来し、森林などで子育てをします。自然学習林にも毎年多くのアカハラがやってきますが、警戒心が強いのか、なかなか姿を見ることができません。しかし、朝方の林内からは、「キヨロ、ツイー」といったアカハラの涼やかなさえずりが聞こえてきます。

レポート

タンチョウ繁殖状況調査

5月18日、温根沼・風蓮湖において、タンチョウの繁殖状況を調べました。

今回の調査ではヒナを確認することはできませんでした。2か所で抱卵と思われる行動を確認することができました。また、ペアを形成しているはずのタンチョウが一羽でいるのが2か所で確認でき、ここも抱卵を行っている可能性が高いと思われます。

今後も引き続き調査を行っていく予定です。



一羽で歩くメスの成長

春国岱バードウォッチング開催

5月25日、「春国岱バードウォッチング」を開催しました。早朝の気持ちのいい空気の中、ヒバリやルリビタキなど、夏鳥のさえずりを聞くことができ、楽しいイベントとなりました。



イベントの様子

レンジャー日記

ゴールデンウィーク中は、潮回りがミヤコドリを観察するのにちょうど良い状況でした。日中に干潟が出ている場所が少なかったため、限られた場所にひしめき合うように立つ姿や46羽ものミヤコドリが春国岱湾の干潟でエサをとる姿を見ることができました。そのような中、ネイチャーセンターからライブカメラでミヤコドリを見てみると、1羽が干潟に深くクチバシを差し込み、見事に貝を捕まえました。どうやって貝をあけて中身を食べるのだろうと見てみると、貝をくわえ直しては水中に入れるという動作を何度か繰り返すうちにあっという間に貝殻の隙間にクチバシをいれ、中身だけを取り出して食べてしまいました。結局どうやったのかはわかりませんが、ミヤコドリの技の素晴らしさに感心した一瞬でした。



【記：レンジャー手嶋】

NEWS

※重要なお知らせ

春国岱橋の補修工事のため、春国岱が利用できなくなります。

■期間：平成25年7月16日～8月31日

大変ご迷惑をおかけいたします。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、春国岱ネイチャーセンターと自然学習林は工事期間中も通常通りご利用いただけます。



行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…
春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
6/16 (日) 13:00~15:00	NEMURO ざりがに探偵団 在来種の生活を脅かすとして、特定外来生物に指定されたウチダザリガニを明治公園でたも網を使って捕まえて駆除します。ざりがにを触ったことがない人も、ざりがにが好きな人も是非ご参加ください。	100 円	定員 20 名 (先着) 6/13 までにお申込みください 対象: どなたでも (小学生以下は保護者同伴) 集合: 春国岱ネイチャーセンター 持ち物: 動きやすい服装、長靴、筆記用具、軍手、帽子、あればたも網
6/29 (土) 9:00~12:30	夏の春国岱写真撮影教室 センダイハギやハマナス、子育て中の小鳥や、ヒラヒラ飛ぶ蝶など、春国岱の夏を代表する様々の動植物を自宅にあるデジタルカメラで綺麗に撮影してみませんか？ カメラ経験のあるなし問わず、皆で写真を楽しみましょう。講師に、「写団ねむろ」代表の本川勝敏さんをお招きします。	100 円	定員 20 名 (先着) 6/25 までにお申込みください 対象: どなたでも (小学生以下は保護者同伴) 集合: 春国岱ネイチャーセンター 持ち物: デジタルカメラ、動きやすい服装、長靴、筆記用具、帽子、あれば三脚
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーでおもちゃの中にかくされた“本物”を探すゲームに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。

ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスクと個人参加のフィールドボランティアが活動しています。
レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。
いつからでも、経験がなくてもはじめることができます。気軽にお問合せください。

- ◆対象: 高校生以上
- ◆会費・保険料 (年間):
フィールドボランティア 300 円
ボランティアグループスク 1500 円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570
Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp
URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

- ◆6月の休館日: 5, 12, 19, 26 日
- ◆6月の開館時間: 9:00~17:00
- ◆団体ご利用の方へ
自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。(要 事前申込)